

取扱説明書

※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (AUTO OFF 機能)。

自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください (P.5)。

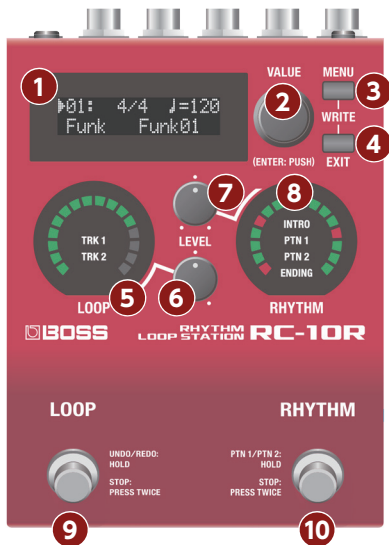
- 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書 (P.23)）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

現在のフレーズ・メモリーの番号や、さまざまな情報が表示されます。

2 [VALUE] つまみ

ディスプレイに表示されているパラメーターを選んだり、値を変えたりします。

3 [MENU] ボタン

各種のパラメーターを設定します。

メモ

[MENU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押すことで、フレーズを保存することができます (P.18)。

4 [EXIT] ボタン

ディスプレイに表示されているカーソルの移動などに使います。

5 LOOP インジケーター

録音／再生／オーバーダビングの状態に合わせて、周囲のインジケーターが点灯します。

インジケーターの中央には、再生しているループのディビジョン (TRK 1、TRK 2) が表示されます。

6 [LEVEL] (LOOP) つまみ

フレーズ・ループの音量を調節します。

7 [LEVEL] (RHYTHM) つまみ

リズムの音量を調節します。

8 RHYTHM インジケーター

リズムの再生状態に合わせて、周囲のインジケーターが点灯します。

インジケーターの中央には、再生しているリズムのディビジョン (INTRO、PTN 1、PTN 2、ENDING) が表示されます。

9 [LOOP] スイッチ

録音／再生／オーバーダビングを切り替えます。

空のフレーズの場合

録音 → 再生 → オーバーダビング

データがあるフレーズの場合

再生 → オーバーダビング

再生中／オーバーダビング中

スイッチを2秒以上踏むと、アンドゥ（録音、または最後のオーバーダビングを取り消し）します。もう一度スイッチを2秒以上踏むと、リドゥ（取り消しをキャンセル）します。

スイッチを2回続けて踏むと、停止します。

停止中

スイッチを2秒以上踏むと、フレーズをクリアします。

10 [RHYTHM] スイッチ**リズム停止中**

スイッチを踏むと、リズムを再生します。

スイッチを2秒以上踏むと、SYNCのオン／オフを切り替えることができます (P.10)。

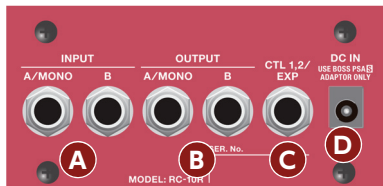
リズム再生中

スイッチを踏むと、フィル・インが入ります。

スイッチを2秒以上踏むと、ディビジョン (PTN 1 / PTN 2) が切り替わります。

スイッチを2回続けて踏むと、再生が停止します。

リア・パネル (機器の接続)



A INPUT (A/MONO、B) 端子

ギター／ベースやエフェクターを接続します。

ステレオ出力のエフェクターを接続するときは A 端子と B 端子を、モノで使用するときには A 端子のみを使用してください。

B OUTPUT (A/MONO、B) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで使用するときには OUTPUT A 端子のみを使用してください。ステレオで入力した音もモノで出力されます。

電源を入れる／切る

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

DC IN 端子は、電源スイッチも兼ねています。DC IN 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るときの注意

※ 以下の状態では絶対に電源を切らないでください (DC IN 端子からプラグを抜かない)。保存しているデータがすべて失われることがあります。

- LOOP インジケーターが回転中 (録音 / 再生 / オーバードビング中)
- ディスプレイに [LOADING...]、[EXECUTING...] と表示されている間 (フレーズ・メモリーの切り替え中 / 保存中 / 削除中 / 読み込み中)

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

オート・オフ機能を設定する

自動で電源を切る必要がない場合は、「AUTO OFF」を「OFF」に設定します。

1. メニュー画面 → 「SYSTEM」 → 「AUTO OFF」を選び、「[VALUE] つまみを押し決定します。
2. 「[VALUE] つまみを回して、値を変更します。

OFF	自動で電源が切れません。
ON	演奏や操作をやめてから 10 時間経過すると、自動的に電源が切れます。

3. 「[EXIT] ボタンを数回押して、トップ画面に戻ります。

C CTL 1、2/EXP 端子

フットスイッチ（別売:FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

➔ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」（PDF）をご覧ください。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

D DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続する端子です。

- ※ AC アダプターは必ず付属のものをお使いください。それ以外のアダプターをお使いになると誤動作や感電の原因となります。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

サイド・パネル (機器の接続)



E MIDI 端子

外部 MIDI 機器を接続します。外部 MIDI 機器を使って本機と同期させることができます。

接続には、TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売: BMIDI-5-35) を使用します。

注意

オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

F USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコンに接続します。

RC-10R のフレーズをパソコンで読み／書きしたり、外部 USB MIDI 機器を使って本機と同期させたりすることができます。

➔ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

RC-10R の構成

RC-10R



「録音」と「オーバーダビング」

本書では、空のトラックに最初に録音することを「録音」、録音した音にさらに音を重ねる2周目以降の録音を「オーバーダビング」と呼びます。

フレーズ・メモリー

トラックやリズム・パターンの組み合わせを「フレーズ・メモリー」と呼びます。フレーズ・メモリーは最大 99 種類記憶することができます。

リズム

リズムは、INTRO (イントロ)、PTN 1 (パターン 1)、PTN 2 (パターン 2)、ENDING (エンディング) の 4 つのディビジョンで構成されています。また、PTN 1、PTN 2 には、それぞれに対応したフィル・インもあります。

ルーパー

ルーパーは、TRK 1 (トラック 1)、TRK 2 (トラック 2)、の 2 つのディビジョンで構成されています。ギターやベースの音を録音したり再生したりします。

システム

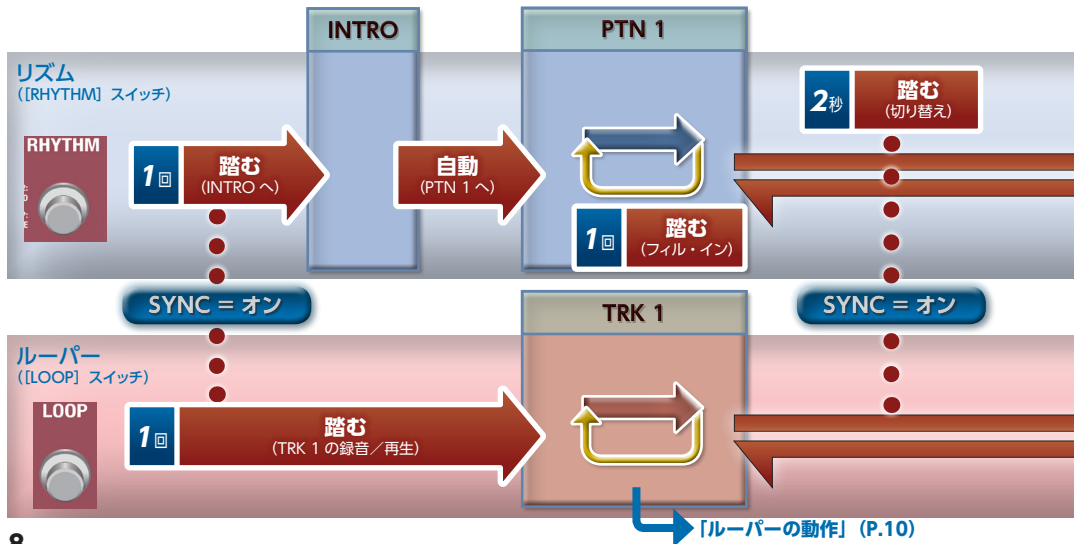
RC-10R 全体の設定です。

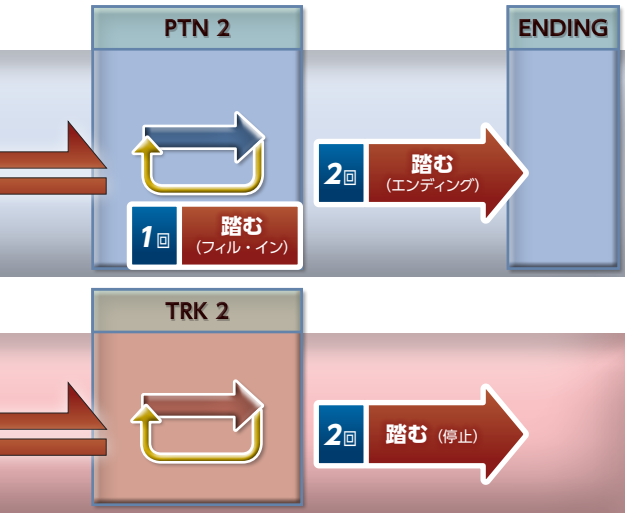
→ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。

基本操作

操作の流れ

RC-10R では、「リズム演奏」、「ループ録音」、「リズム演奏+ループ録音」をすることができます。



**INTRO (イントロ)**

パターンに最適な短いイントロが再生されます。

PTN 1 (パターン 1)

基本となるリズム・パターンです。

PTN 2 (パターン 2)

PTN 1 よりも華やかなリズム・パターンです。

フィル・イン

PTN 1 と PTN 2 の再生中に、自由なタイミングでフィル・インを入れることができます。PTN 1 と PTN 2 の切り替え時にも、フィル・インが入ります。

PTN 1 と PTN 2 で異なるフィル・インが再生されます。

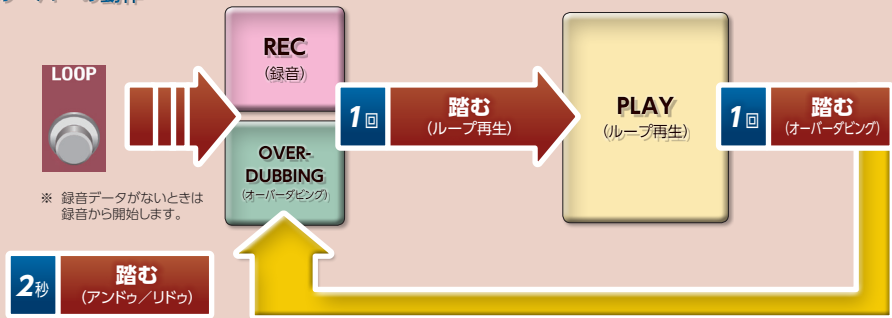
ENDING (エンディング)

フィル・インが入ったあとエンディングを再生して停止します。

ルーパー (TRK 1、TRK 2)

ギターやベースの音を録音したり再生したりします。リズム・セクションの PTN 1 と PTN 2 の切り替えと連動してルーパー・セクションのトラックも切り替わります。

ルーパーの動作



ルーパーとリズムを同時に動作させる (P.15)

ルーパーとリズムを同時に動作させる (SYNC オン) か、別々に動作させる (SYNC オフ) かを設定することができます。ルーパーとリズムの停止中に、[RHYTHM] スイッチを 2 秒以上踏むと、SYNC のオン/オフを切り替えることができます。SYNC がオンのときは、RHYTHM インジケーターの色が変わります。

SYNC オフ: 赤と緑

SYNC オン: 赤と水色

リズムの基本操作

リズム・パターンを選ぶ

RC-10R には、280 種類以上のリズム・パターンが内蔵されています。

1. [VALUE] つまみを押して、カーソルをジャンルに合わせます。

```
01: 4/4 J=120
▶Funk Funk01
```

※ 上記の画面と異なる場合は、[EXIT] ボタンを数回押し、トップ画面を表示させます。

2. [VALUE] つまみを回して、ジャンルを選びます。

```
01: 4/4 J=120
▶Pop Pop01
```

3. [VALUE] つまみを押して、カーソルをリズム・パターンに合わせます。

```
01: 4/4 J=120
Pop ▶Pop01
```

4. [VALUE] つまみを回して、リズム・パターンを選びます。

```
01: 4/4 J=120
Pop ▶Pop02
```

メモ

- 内蔵のリズム・パターンについては、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。PDF マニュアルの入手方法については P.21 をご覧ください。
- リズム・パターンの拍子を変えることはできません。演奏したい拍子のリズム・パターンを選んでください。

リズムを再生する

1. [RHYTHM] スイッチを押します。

リズムが再生されます。

RHYTHM インジケーターがリズムのタイミングに合わせて点灯します。

PTN 1 と PTN 2 を切り替える

1. リズムの再生中に、[RHYTHM] スイッチを 2 秒踏みます。

フィル・インが入ったあと再生するディビジョンが切り替わります。

リズムを停止する

1. リズムの再生中に、[RHYTHM] スイッチを 2 回連続で踏みます。

フィル・インが入ったあとエンディングを再生して停止します。

- イントロを再生せずにリズムを開始することもできます。
- エンディングを再生せずにリズムを停止することもできます。

➔ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」(PDF) をご覧ください。

フィル・インを入れる

1. PTN 1、PTN 2 の再生中に、[RHYTHM] スイッチを 1 回踏みます。

リズム・パターンに応じたフィル・インが入ります。

メモ

- PTN 1 と PTN 2 の切り替え時にも、フィル・インが入ります。

リズムの音量を調節する

1. [LEVEL] (RHYTHM) つまみを回します。

テンポを調節する

1. [VALUE] つまみを押して、カーソルをテンポに合わせます。

```
01: 4/4 J=120
Funk Funk01
```

2. [VALUE] つまみを回して、テンポを調節します。

ルーパーの基本操作

フレーズ・メモリーを選ぶ

1. [VALUE] つまみを押して、フレーズ・ナンバーにカーソルを合わせます。

```
▶01: 4/4 J=120
Funk Funk01
```

2. [VALUE] つまみを回して、フレーズ・メモリー (1 ~ 99) を選びます。

LOOP インジケータ	説明
消灯	録音データなし [LOOP] スイッチを踏むと録音スタート
緑で点灯	録音データあり [LOOP] スイッチを踏むとループ再生をスタート

録音

録音データがないフレーズ・メモリーを選んで [LOOP] スイッチを踏むと、録音を開始します。

トラックの状態と LOOP インジケーターの色

緑: 停止時データあり、または再生時

赤: 録音時

オレンジ: オーバーダビング時

水色: アンドゥ、リドゥ時

オーバーダビング

ループ再生中に [LOOP] スイッチを踏むと、再生中のフレーズに重ねて録音することができます (オーバーダビング)。

- オーバーダビング中に [LOOP] スイッチを踏むと、ループ再生に切り替わります。
- アンドゥ、リドゥ操作ができます。
→ 「オーバーダビングを取り消す (アンドゥ/リドゥ/トラック・クリア)」 (P.15)

ループ再生

オーバーダビング中または録音データがあるフレーズ・メモリーを選んで [LOOP] スイッチを踏むと、ループ再生を開始します。

- ループ再生中に [LOOP] スイッチを踏むと、オーバーダビングに切り替わります。
- フレーズ再生中にフレーズ・ナンバーにカーソルを合わせて [VALUE] つまみを回すと、フレーズ・メモリー番号が点滅し、次のフレーズを選ぶことができます (メモリー・シフト)。
- CTL 1、2 端子に接続した外部フットスイッチを使ってメモリー・シフト操作をすることもできます。
→ 詳しくは、「パラメーター・ガイド」 (PDF) をご覧ください。

停止

[LOOP] スイッチを 2 回連続で踏むと停止します。

オーバーダビングを取り消す

(アンドゥ/リドゥ/トラック・クリア)

フレーズを再生/オーバーダビング中に [LOOP] スイッチを 2 秒以上踏むことで、アンドゥ/リドゥすることができます。

また、フレーズの停止中に [LOOP] スイッチを 2 秒以上踏むと、フレーズをクリアすることができます。

動作	説明
アンドゥ	再生中/オーバーダビング中に [LOOP] スイッチを 2 秒以上踏むと、録音、または最後のオーバーダビングを取り消します。
リドゥ	取り消した音を復活させたい場合は、再生中にもう一度 [LOOP] スイッチを 2 秒以上踏みます。リドゥできるのは、オーバーダビングのみです。
クリア	フレーズの再生が停止中に、[LOOP] スイッチを 2 秒以上踏むとフレーズがクリアされます (クリアは一時的なもので、フレーズ・メモリーに保存してあるフレーズは消えません)。

リズムとルーパーを組み合わせて使う

リズムとルーパーを組み合わせて使うと、さらに多彩な演奏ができます。

リズムに合わせてルーパーでバックキングを録音する

1. **リズムとルーパーが停止していることを確認します。**
2. **[RHYTHM] スイッチを 2 秒以上踏みます。**

SYNC がオンになり、リズムとルーパーが同時に動作するようになります。

SYNC がオンのときは、RHYTHM インジケーターの色が変わります。

SYNC オフ：赤と緑

SYNC オン：赤と水色

3. [RHYTHM] スイッチを踏みます。

イントロ再生のあと、リズムの PTN 1 が再生されます。同時にルーパーの TRK 1 の録音が始まります。

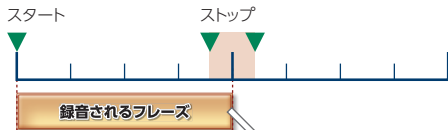
4. [LOOP] スイッチを踏みます。

TRK 1 の長さが決まり、ルーパーは再生状態になります。

リズムとルーパーで作ったバックিং・トラックを再生しながら、自由に演奏することができます。

さらに [LOOP] スイッチを踏んでオーバーダビングすることもできます。

※トラックの長さは、テンポとリズムの拍子をもとに自動的に補正（ループ・クオンタイズ）されます。



タイミングが多少ずれても、フレーズの長さは正確な小節の長さに自動調節されます。

※ リズムはルーパーに録音されません。

※ ループ録音、オーバーダビング、再生中であっても [RHYTHM] スイッチを踏むことで、自由にリズムのフィル・インを入れることができます。

TRK 2 を録音する

リズムでディビジョン (PTN 1 と PTN 2) を切り替えるように、ルーパーのディビジョン (TRK 1 と TRK 2) を切り替えて録音、再生することができます。これにより、曲の再生ディビジョンに合わせてコード進行を変えたバックিং・トラックを作ることができます。

1. TRK 1 の録音、オーバーダビング、再生中に [RHYTHM] スイッチを 2 秒以上押します。

リズムが PTN 2 の演奏に切り替わると同時に、ルーパーは TRK 2 の録音に切り替わります。

TRK 1 の録音と同様に TRK 2 も再生、オーバーダビングを切り替えることができます。

メモ

- 再生しているリズムのパート、録音、再生、オーバーダビングしているルーパーのトラックがインジケータの中央に表示されます。
 - [5 LOOP インジケータ] (P.2)
 - [8 RHYTHM インジケータ] (P.3)

演奏を停止する

1. [RHYTHM] スイッチを 2 回続けて踏みます。

小節の最後まで演奏したあとに、エンディングが再生され、停止します。

フレーズ・メモリー (保存/消去)

フレーズを保存する

録音/オーバーダビング後やリズムの設定後、別のフレーズ・メモリーを選んだり電源を切ったりすると、フレーズの設定は消えてしまいます。

大事なフレーズは保存してください。

1. 停止中に、[MENU] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみを回して [WRITE] を選び、[VALUE] つまみを押して決定します。



3. [VALUE] つまみを回して、保存先のフレーズ・メモリーを選びます。



中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

メモ

- 最大録音時間は全フレーズ（保存していないフレーズを含む）の合計で約6時間です。メモリーの不足でフレーズが保存できない場合は、ディスプレイに「MEMORY FULL!」と表示されます。このような場合は不要なフレーズを消去（P.19）してから、操作をやり直してください。

4. [VALUE] つまみを押します。

フレーズが保存されます。

注意

- 「EXECUTING...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。保存しているデータがすべて失われることがあります。

- 修理の際には、記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。
- 本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

フレーズを消去する

フレーズを消去します。

1. 停止中に、[MENU] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

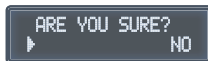
メニュー画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみを回して「CLEAR」を選び、[VALUE] つまみを押して決定します。



3. [VALUE] つまみを回して消去するフレーズ・メモリーを選び、[VALUE] つまみを押して決定します。



中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、[VALUE] つまみを押します。

フレーズが消去されます。

注意

- 「EXECUTING...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。保存しているデータがすべて失われることがあります。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

RC-10R の設定を工場出荷時の設定に戻すことを「ファクトリー・リセット」といいます。

ファクトリー・リセットは、システムの設定を工場出荷時の設定に戻すこと、すべてのフレーズ・メモリーの初期化ができます。フレーズ・メモリーを初期化すると、フレーズは削除されます。

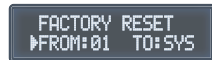
1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。



2. [VALUE] つまみを回して [FACTORY RESET] を選び、[VALUE] つまみを押して決定します。

ファクトリー・リセットの範囲設定画面が表示されます。

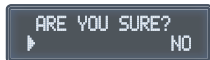


3. ファクトリー・リセットの範囲を指定します。

カーソルを進める	[VALUE] つまみを押します。
カーソルに戻す	[EXIT] ボタンを押します。
設定値の変更	[VALUE] つまみを回します。

パラメーター	設定値	説明
FROM	SYS	システム、MIDI パラメーターの設定内容
TO	1 ~ 99	フレーズ・メモリー 1 ~ 99 の内容

4. [VALUE] つまみを押して、ファクトリー・リセットの範囲を決定します。



中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみを回して「YES」を選び、[VALUE] つまみを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

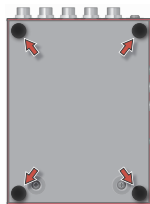
注意

- 「EXECUTING...」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。保存しているデータがすべて失われることがあります。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

パラメーター・ガイドの入手方法

- 下記URLにアクセスします。
<http://jp.boss.info/manuals/>
- 製品名「RC-10R」を選びます。



主な仕様

BOSS RC-10R: リズム、ループ・ステーション

ルーパー	最大録音時間 : 約 6 時間 (ステレオ) トラック数 : 2 データ形式 : WAV (44.1kHz、ステレオ 32 ビット浮動小数点)
リズム	リズム・タイプ : 280 種類以上 リズム・コントロール : イントロ、PTN 1、PTN 1 フィル、PTN 2、PTN 2 フィル、エンディング リズム・キット : 16 種類 最大同時発音数 : 24 音
最大保存フレーズ・メモリー数	99
電源	AC アダプター
消費電流	250mA
外形寸法	101 (幅) × 138 (奥行) × 63 (高さ) mm (ゴム足を除く) 101 (幅) × 138 (奥行) × 65 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量 (AC アダプターを除く)	620g
付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター ゴム足 保証書 ローランド ユーザー登録カード

別売品

フットスイッチ: FS-5U

デュアル・フットスイッチ: FS-6、FS-7

エクスプレッション・ペダル: FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル: BMIDI-5-35

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

警告

AUTO OFF 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (AUTO OFF 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください (P.5)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品
ゴム足 (P.21)

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について



- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- SD ロゴ  および SDHC ロゴ  は SD-3C、LLC の商標です。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム [eParts™] が搭載されています。
- 本製品には、第 3 者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
Copyright (c) 2016, Freescale Semiconductor, Inc.
Copyright 2016-2017 NXP
All rights reserved.
Licensed under the BSD-3-Clause
You may obtain a copy of the License at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>
- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意／使用上のご注意

- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。